SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：YKK AP株式会社九州製造所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念や事業方針を明文化し、会社のあるべき姿を従業員に説明し共有している。 ・持続的な成長を牽引するために、マテリアリティ（重要課題）を特定し推進するための体制を整備している。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守の規程とマニュアルがあり、社内ネットワーク上での電子版掲示や職場の掲示板等で、法令遵守の重要性を、全従業員に向けて発信している。 ・コンプライアンス研修を実施し、従業員への啓発を行っている。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社として公正な取引に努め、全従業員に向け、その重要性を発信している。 ・不公正競争行為の禁止を含む行動規範を整備し、明文化している。 ・仕入先等に対し、下請法に抵触するような取引が行われていないかチェックしている。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・九州製造所では環境ISOの運用として体制を整備、環境管理者が担当し、自らの事業活動が社会・環境に及ぼす正と負の影響（可能性）を把握している。 ・eラーニングを用いて『SDGs研修』を実施するとともに、PCを持たない製造現場（ライン等）の従業員にはテキストを用いた研修会を開催し、SDGsに関する知識を習得できる機会を設けている。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・特許、商標、著作権などの侵害排除について、規程を設けている。 ・知的財産に関する研修（eラーニング・書面）を実施している。								8.2 8.3	9								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・eラーニングや研修会を開催するなど、情報漏洩防止を徹底している。 ・情報漏洩事故に対する具体的な対応策を示したセキュリティインシデント報告・対応細則を策定している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・九州製造所はガーデンエクステリアを提案する「エクステリアパーク」や窓の断熱性能を比較体感できる提案型施設「P-STAGE八代」を併設し、コミュニケーション基地としての役割を担っている。その他にプロユーザーが抱える課題や要望に対して共同施工検証などを通じて課題を共有し、解決のための意見・情報交換も行っている黒部市の「パートナーズサポートスタジオ」や、エクステリア施工技能者の育成・レベルアップや施工技能の伝承を目的とした埼玉の「DO SPACE 上尾」もステークホルダーとの共創・共働の拠点として活用している。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・法令・社会規範の遵守と公正かつ倫理的な取引、人権・労働環境への配慮、環境・安全衛生への配慮、品質・製品安全の確保、情報セキュリティの確保、これら5つの項目を明示した「取引基本原則」を定め重要取引先と締結している。また締結後に取り組み状況を確認するためのCSRアンケートを実施している。				5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・過去の台風被害・熊本地震・豪雨災害の経験を踏まえ、BCPを策定し、毎月シェイクアウト訓練を実施し、さらに年に1回製造所が定める2次避難場所までの避難訓練を実施している。 ・定期的に災害備蓄品の棚卸や品目の見直しを実施している。 ・災害ベンダーを設置し、緊急時の飲料を確保している。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：YKK AP株式会社九州製造所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している。 ・ハラスメント防止規定を就業規則に定めている。 ・差別やハラスメントに関する研修を実施し、相談窓口を設置している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・法令およびYKKグループの安全衛生基準に沿って製造設備の安全審査を実施し、合格した設備のみ使用を認めている。また、全製造ラインが保有する設備機械をデータベース化して計画的に審査し、設備の本質安全化を進めている。 ・部署長・職長による1回/週以上の職場巡思を行い、不安全状態や不安全行動の撲滅を図っている。 ・職場での安全衛生教育や社外での安全衛生教育を計画的に実施している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員（正社員・スタッフ・パート社員）の公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・長時間労働の撲滅にむけ社内上限指針60h/月（厚労省指針80h/月）を設定し時間管理を徹底している。 ・業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革に取組み、有給休暇70%取得を目指して推進している。 ・仕事と家庭の両立を支援する制度（フレックスタイム制、介護・育児休暇、短時間労働、テレワーク等）を整備している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・従業員の能力開発を目的とした教育会を年間を通して計画、実施している。 ・適切なマネジメントを実施できる管理職を育成するための管理職研修を定期的に実施している。 ・公的資格取得奨励制度が策定され、資格手当・報奨金が支給されている。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・2018年に「健康宣言」を制定し、生活習慣病の減少やメンタル疾患の抑制に取り組んでいる。 ・「受動喫煙ゼロに向けた職場づくり」といった環境整備を進め、「健康経営優良法人2021（大規模法人部門）」を取得している。 ・メンタルヘルスやロコモティブ対策をテーマとした健康教室を年間を通じて定期的に実施している。 ・健康診断、インフルエンザ予防接種の経費補助を行っている。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・キャリア開発支援、障がい者の雇用拡大・定着を重要課題として取り組んでいる。 ・2021年4月より定年制度を廃止し、年齢にかかわらず働ける環境を整備している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・時差出勤、在宅勤務（テレワーク等）を導入するなど、新しい働き方に対する労務管理体制を整備している。 ・「場所を選ばない働き方」の実現に向けた環境整備を推進し、コロナ禍においてもテレワークへの移行を進めている。 ・テレワーク環境での勤務ができない製造現場では「働きやすい職場づくり」を目的に、社員の安全を第一とした感染予防対策を充実させている。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●									8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●	・ブライト企業の認定を受けている。			3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：YKK AP株式会社九州製造所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・ISO14001を取得している。 ・有害化学物質を把握し、適切な管理及び処理に取り組んでいる。 ・自然災害等による漏洩等事故を想定した訓練を定期的に実施している。 ・公害防止管理者等の資格取得を推進している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・ISO14001を通してエネルギー原単位の削減について活動計画を部門毎に策定し、取り組んでいる。 ・電力使用量削減のため、水銀灯からLEDに更新している。 ・ボイラをセントラル方式からローカル方式に変更し、熱ロス削減を抑えている。 ・毎年、合理化・生産性向上を目的とした生産設備投資を計画的に実施している。							7.3							13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・事業活動温暖化対策計画書制度に基づく計画書を提出している。 ・製品や材料の運搬に対し、モーダルシフトやダブル連結トラックを導入している。「エコレール認定企業」 ・製造所内で使用している荷役運搬車両のエネルギー転換を図っている（軽油→電気） ・使用している各エネルギー毎の温室効果ガス発生量を算出し、カーボンニュートラル達成に向けた分析を進めている。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業活動において、廃プラの使用削減や分別に努めている。 ・緑地や水辺の整備など、生物の生息・生育地の創出に取り組んでいる。 ・敷地内でヤギを飼育し、緑地管理として除草を行わせたり、保育園等に貸し出しを行っている。 ・敷地内でメダカを飼育し、数を増やして小学校に教材として提供している。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・九州製造所から排出される産業廃棄物のリサイクル率は100%を達成し、資源の有効活用に取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・計画に基づいて「節水」、「汚水の再利用と適切な処理」を実施している。 ・生産設備に節水器具を使用している。 ・熊本県環境保全協議会が主催する地下水保全活動に参加している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・環境に配慮した高断熱製品等を製造している。 ・会社の事務用品等は環境ラベルの付いた商品を購入している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・社員食堂において、調理時に発生する野菜くずをヤギのエサとして活用している。 ・敷地でサツマイモを栽培し、市内の園児に芋掘り体験を通じて食育に取り組んでいる。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・工場の壁面緑化や植栽に取り組んでいる。 ・小学校の窓際に、子どもたちと一緒にグリーンカーテンを設置している。 ・敷地で育てた季節の花やブドウの苗を配布している。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・太陽光パネルや蓄電池を設置し、再生可能エネルギーを利用しており、今後も計画的に増設していく。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・環境省・日本財団 海洋ごみ対策共同事業「秋の海ごみゼロウィーク」へ参加している。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・通勤災害に配慮しながらも自転車通勤を奨励している。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	・2030年度に向けた自社による温室効果ガス削減目標を2013年度比で50%削減と掲げている。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：YKK AP株式会社九州製造所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・2017年には「製品安全対策優良企業表彰（主催：経済産業省）」において3回目となる「経済産業大臣賞」を受賞し、「製品安全対策ゴールド企業」に認定されている。 ・商品開発から生産、販売に至るまで、サプライチェーン全体での品質確保プロセスの運用促進を図り、品質を確保している。 ・お客様やお取引先からのご要望や不具合の報告、点検・修理に関する声を品質情報として一元化することに取り組んでいる。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・お子様やご高齢者、車いすを利用する方などが安全に安心して暮らせるよう製品やサービス及び施設等において、ユニバーサルデザインを考慮している。 （つまずきや転倒を防止するため下枠の段差をなくした窓・ドア商品、安全と快適性をサポートする歩行補助手すりなどを製造）									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量を抑制し、脱炭素社会の実現に向けた商品開発を進めている。 九州製造所では、 ・省エネ性と災害への備え、安全機能を併せ持つアルミ樹脂複合窓「エピソードⅡ NEO」 ・結露を抑制し、中層階にも対応する非木造住宅向けのアルミ樹脂複合窓「エピソードNEO-LB」 を製造している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地元自治体行事（祭り・イベント）への協賛を行っている ・地域社会貢献活動に積極的に取り組んでいる （保育園児の芋掘り体験教室開催、小学生へのメダカ贈呈、やつしろ緑のカーテンコンテスト参加、熊本県環境保全協議会活動、地域住民への花の苗・ブドウの苗等の無償配布）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・定期的に避難訓練を行っている。 ・製造所において、防災備蓄や防災グッズを常備している。 ・製造所内各職場において、避難経路・避難場所マップを掲示し従業員に周知している。 ・災害機会の増大に備え、BCPの整備、見直し（更新）を行っている。 ・大雨や強風の被害を防ぎながら快適性能も確保するアルミ樹脂複合窓「エピソードⅡNEO-R」を製造している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・近隣火災発生時には、製造所内防火水槽や屋外消火栓より消防水利を提供し消火活動に協力している。（21年6月消防長より感謝状受領） ・製造所内にAED（自動体外式除細動器）を設置している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	・ゲリラ豪雨や、大型化・激甚化する台風被害から住まいを守る耐風シャッターや、大型台風に備える高性能カーポートなどを幅広く提案している。									9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・社内でSDGsに関する研修を実施し、全社員にSDGsへの意識の浸透を図っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・地元の支援学校に通う生徒の就業体験を受け入れている。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・地元の生徒、学生を積極的に雇用している。 （直近の県内学生採用実績：21年度 25人、22年度 20人） ・高い断熱性と利便性、快適な暮らしを提供する社員向け集合住宅「八代ハウス」を運用している。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25　25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。